

会 議 録

1 会議名

第2回上越市総合計画審議会

2 議題

- (1) まちづくり市民意見交換会の開催結果について
- (2) 後期基本計画 施策・施策の柱の骨子案について

3 開催日時

平成30年8月6日（月）午後1時30分から3時30分まで

4 開催場所

上越市役所4階 401会議室

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

なし

7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

- ・委員：濱祐子、荒川俊治、川崎直哉、山縣耕太郎、大野昇、金子幸二、荻谷賢一、小嶋宏志、小林良一、白石雅孝、杉本正彦、高橋信雄、中條美奈子、早川英雄、早津正文、松川菜々子、大堀みき、土屋郁夫、中村真二、倉石義行、斉京貴子、武石雄司、宮下孝洋
- ・事務局：塚田企画政策部長、大山企画政策課長、大島副課長、志賀副課長、内山係長、岡田主任、杉田主事

8 発言の内容（要旨）

(1) 開会

会長あいさつ

【川崎直哉会長】

本日はご多忙の中、ご出席を賜り、感謝申し上げます。

第1回の審議会では、前期計画の概要等を事務局から説明を受け、意見交換を行った。今日の議題にもあるが、前回の審議会以降、「まちづくり市民意見交換会」が開催され、事務局で情報を整理しているので、それをベースにして後期に向けて良い計画ができればと思っている。

(2) 議事

ア 議題(1) まちづくり市民意見交換会の開催結果について

【事務局（内山係長）】

資料1により説明。

イ 議題(2)後期基本計画 施策・施策の柱の骨子案について

【事務局（志賀副課長）】

資料2～6により説明。

【中村真二委員】

施策「まちづくりの人材育成・確保」の新設については、一步進んだ印象を受けた。移住に取り組む側として嬉しく思うが、骨子の「定住促進・UIJ ターン者の増加」の表現は曖昧に感じる。

移住者の定着が大切であるので、移住前に地域住民と交流したり、試しに居住したりできる環境や、移住者の先輩でUIJ ターンに熱心な人と交流する環境づくりが必要である。

【土屋郁夫委員】

「まちづくり」の表現は、中心部の町を指している印象を受ける。「地域づくり」や「集落づくり」など、中山間地域にとっても相応しい表現を工夫できないか。

【山縣耕太郎委員】

上越市は、中心市街地、中山間地域、平野部とで人口動態等のデータのギャップが大きいので、その差を地域ごとにデータで示せば、より課題を明確にすることができる。

【宮下孝洋委員】

人材育成に関しては、様々な分野に関わる重要な部分であると思うが、事業の取組はどう考えるか。

【事務局（志賀副課長）】

事業の詳細については、これから詰めていく。

【土屋郁夫委員】

ハザードマップの更新・周知にとどまらず、避難訓練についても記載すべき。広島
の豪雨災害ではハザードマップはあっても避難が遅れて、多くの犠牲者が出ている。

【高橋信雄委員】

「産業・経済分野」に関して、人手不足は、少子化による要因と景気の変動による要因があるので、これらを混同するとポイントがぼけてしまう。

「職人」の表現は、ごく限られた業種がイメージされるが、建設業のオペレータ等の技能労働者も含まれると思うので、誤解を招かないよう、表現を慎重に選ぶべきである。

「外国人」の表現が多く使われるが、対象となる外国人は、観光客や就業者、定住者、人種差別における外国人など、それぞれ異なるので、対象が曖昧にならないようにすべき。

【中條美奈子委員】

女性が活躍すれば地域が活性化するので、若い女性に限らず、年齢に関係なく女性が活躍できる社会が重要である。

多くの分野で女性の活躍を掲げているので、「女性の活躍」を柱として新設してはどうか。

【小林良一委員】

交通ネットワークに関して、人口減少が進む中山間地域ではバスの利用者が減り、交通事業者の運営が難しくなると予想される。

公共交通に対する不安が大きいため、高齢者の免許証返納も進まない。

【川崎直哉会長】

他の自治体等で成功している事例等があれば、参考になるのではないか。

また、以前は市内でワンコインバスが運行していたと思う。

【白石雅孝委員】

現在は高田駅前から各高校へワンコインバスを運行している。雨の日には利用が多いが、晴れの日には高校生は徒歩が多い。

直江津では、狭隘道路において小型のバスを運行している。

【武石雄司委員】

「産業・観光分野」の「市内の回遊性の向上」について、記載されている「うみがたり等」には、高田公園や春日山城等も含まれるのか。

【事務局（志賀副課長）】

高田公園や春日山城のほか、各イベント等も踏まえて記載している。

【荒川俊治委員】

「就労ニーズ」に関して、職業を幅広い職種から選択できるよう、企業誘致や創業支援を進めてもらいたい。

中山間地域の現状は厳しく、解決することも難しいので、きめ細かな施策が必要である。

【金子幸二委員】

雇用については、景気に左右される部分が多い。大企業には応募はあるが、中小企業には全く応募がないケースも生じており、企業間でアンバランスが生じている。

行政の子育て支援は充実しているので、今後は企業による子育て支援が重要である。

【倉石義行委員】

「スポーツ活動の普及推進」の骨子の「健康増進の観点も踏まえた幅広いスポーツ活動」の記載は、どこに焦点を当てているのかが分からない。

各地域で総合型地域スポーツクラブを核とした取組を進めていることを踏まえ、骨子としては「地域や各種スポーツ団体の育成による、健康スポーツ活動の推進」とすべき。

【事務局（志賀副課長）】

指摘のとおりとする。

【山縣耕太郎委員】

先ほど防災訓練に関する意見があったが、訓練に参加する住民は減っており、防災に関する知識を周知することが重要である。

他地域の調査では、ハザードマップは配布されていてもあまり認知されておらず、理解されていないとの結果もあるので、内容を理解してもらうことが重要となる。

また、避難から一歩進んで、復旧・復興対策について触れることも必要である。医療やボランティアとの連携など、災害発生後の対応強化もあると良い。

【荻谷賢一委員】

少子高齢化や後継者不足は避けて通れないので、しっかり検討を進めていただきたい。

【松川菜々子委員】

中山間地域の位置づけを明確にし、その役割やメリットについての記載があると良い。

中山間地域に子育て環境を残すためにも、学校を残し、特色あるカリキュラムをいかして強みを出し、学校区を超えて県外等からも生徒を受け入れることが重要である。

【荒川俊治委員】

学校の統廃合に関して、学校がなくなれば、地域のコミュニティがなくなるので、4年間に限らず、長いスパンで考えてもらいたい。

【大堀みき委員】

三和区では、保育園は1園だが、小学校は3校に分かれ、中学校は1校に戻る。小学校で3校に分かれる必要はないのでは、との声がある。

統廃合された後の校舎の再利用は、区に任されるのか。統廃合後の活用方法も含めて検討されるのか。

【事務局（大島副課長）】

区に任せることはなく、地域の意見を聞いて進められるものと思う。

【大堀みき委員】

「特色ある学校教育の推進」の柱に「家庭の教育力の向上」の記載があるが、この柱で良いのか。

【濱祐子副会長】

当市では家庭、地域、学校が連携した教育を進めており、家庭が一番大きな役割を担うため、子どもだけでなく、親の教育が重要となっている。

【杉本正彦委員】

学校の統廃合は、地域の意向を十分に聴きながら進められている。

男女共同参画の促進に関して、町内会の立場としても賛成である。もっと多くの女性から町内会の役員として活躍してもらいたい。

中山間地域について、同じ上越市内でも地域によって状況が全く異なる。その地域にあった施策が必要と考える。

「職人」と聞いて、最初は大工等を思い浮かべたが、幅広い分野で見ることがあると感じた。

平和に関して、戦争の語り手が減っているが、DVDに残して伝承してはどうか。

【早津正文委員】

健康福祉分野に関して、良くできていると感じる。また、中山間地域のサポートに関する記載がある点も良い。

【土屋郁夫委員】

計画等の情報発信に関して、小・中学生でも、ホームページを見れば分かるように分かりやすく発信すべき。

【宮下孝洋委員】

意見交換会の中で大企業を誘致してほしいとの声があったが、市内では、中小企業から大企業に人手が吸収されている現実があり、大企業の誘致は良い面と悪い面がある。

女性の雇用に関して、最近はものづくりの現場でも女性の活躍が広がりつつある。

(3) 閉会

企画政策部長あいさつ

【塚田企画政策部長】

本日は、委員の皆さまから骨子案に対し、貴重なご意見、ご示唆をいただき感謝申し上げます。

いただいたご意見等は、関係する部局に伝達し、計画案への反映に努めるとともに、事業に対するご指摘等は、個々の事業の改善につなげていきたいと考えている。

次回の第3回会議では、計画案とともに施策の目標についてもご審議を賜りたい。

(4) その他

【事務局（大島副課長）】

今後のスケジュール等の事務連絡。

9 問合せ先

企画政策部企画政策課企画調整係

TEL : 025-526-5111 (内線 1851、1852)

E-mail : kikaku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。